



10月号の主な記事

- 万博特集～北区から描く、私たちの未来～……4・5面
- 北区ぶらぶらまち歩き……6面
- 第34回北区民壮年親善ソフトボール大会……6面
- 国民健康保険被保険者証の更新……7面
- 第22回天満音楽祭……8面
- 見つけてキタ!!北区魅力絵画コンテスト2022……12面



第34回 北区民カーニバル 3年ぶり開催 10月16日(日) 扇町公園



しっかりコロナ対策 交流の場を取り戻す



元気がなくなったことに危機感が募りました。「お年寄りには外出しなから体力が落ちてしまう。子どもたちにはわくわくする体験をさせてあげられない。このままでは、まちが衰退してしまいます」

万全のコロナ対策で「北区民カーニバル」を成功させ、地域が行事を再開し、交流の場を取り戻す後



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年と一昨年では中止となった「北区民カーニバル」が、今年は10月16日(日)に扇町公園で開催されます。地域対抗の「体育祭」と「区民まつり」の2部構成。「ギネス世界記録」に挑戦！10万枚の感謝状「北区から世界へ」の記録認定式もあります。

3年ぶりの開催に向け、北区地域振興会会長の岩岸敏雄さんは「感染防止策を徹底して運営、コロナと共存する時代のイベントの成功例にしたい」と張り切っています。

コロナの影響で、この2年半は岩岸さんの地元・豊仁地域でも、夏祭りなど地域の行事を相次いで中止せざるを得ませんでした。人々の交流の場がなくなり、まちに

押しをすることが岩岸さんの目標。9時半に開会し、午前は「体育祭」、午後は「区民まつり」という構成は例年と同じですが、「ギャルみこし」や吹奏楽を中止するなど時間を短縮、14時45分には終了予定です。



北区地域振興会会長
岩岸敏雄さん

「とにかく子どもたちに良い思い出を」と岩岸さん。様々な年代でチームを組むリレー、異なる地域の人々との交流など「北区民カーニバル」ならではの体験や、地域のみんなに応援されるうれしさを楽しんでもらいたいと願っています。

岩岸さん自身も、全地域のテントを回ることを楽しみにしています。「行事は地域を担う人々が育つ場。『北区民カーニバル』は、まちの未来をつくる大切な機会でもあります」



2・3面に「北区民カーニバル」特集

